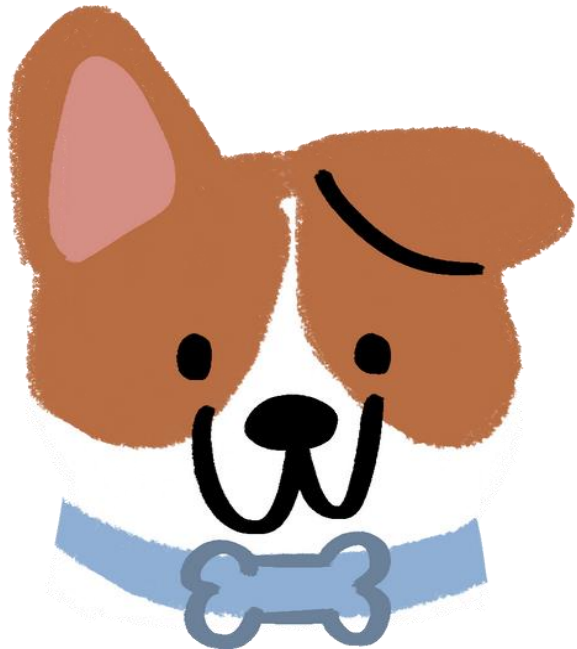


犬猫の問題行動とその予防

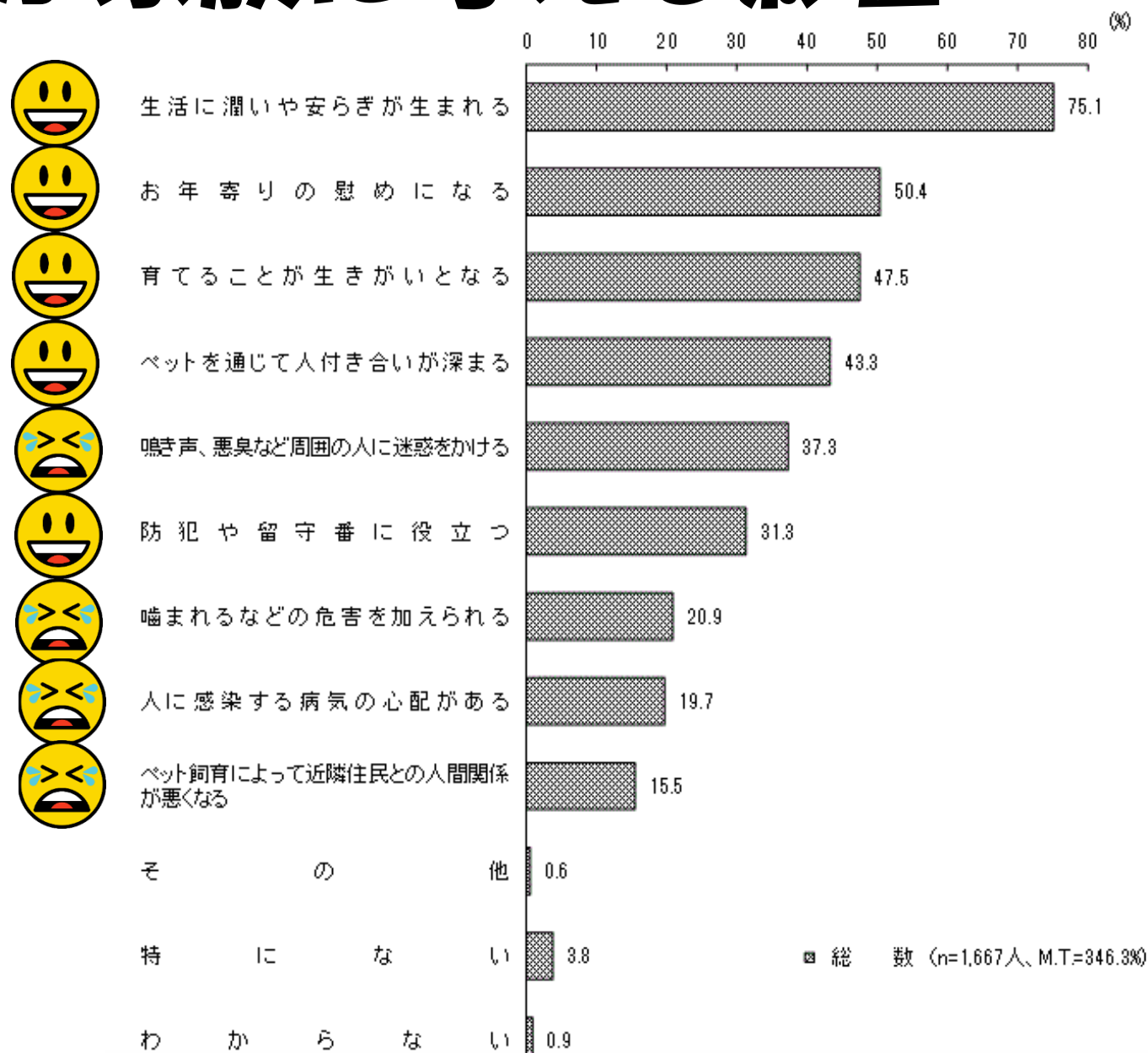
～家族みんなハッピーを目指して～



ヤマザキ動物看護大学
動物臨床行動学研究室 准教授
フリッツ吉川 綾



ペットが家族に与える影響

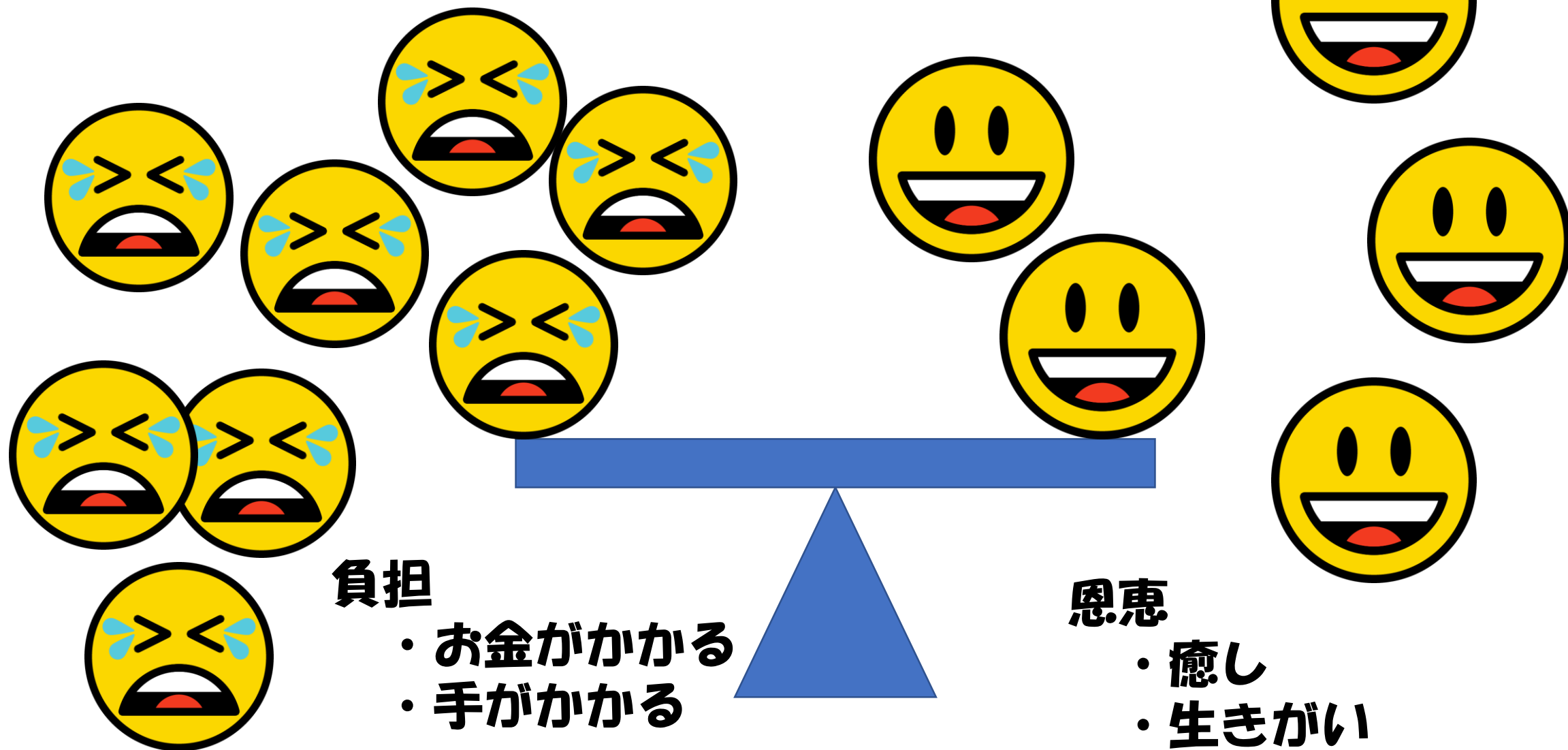


問題行動の動物と飼い主への影響

- 問題行動は人と動物の絆に障害を生じる
- 問題行動のある動物の飼い主の多くが心理的負担や社会的孤独を感じる
- 問題行動は、動物の福祉、身体的健康に負の影響
- 問題行動があることは安楽死のリスクファクターとなる

動物と人・家族のQOL低下

犬猫と家族として生活をすれば



人が困る動物の行動

問題行動

- ・人間社会と協調できない行動
- ・人間（飼い主あるいは動物と関わる人達）が問題と感じる行動

● 臨床行動学 Interzoo



犬のよくある問題行動

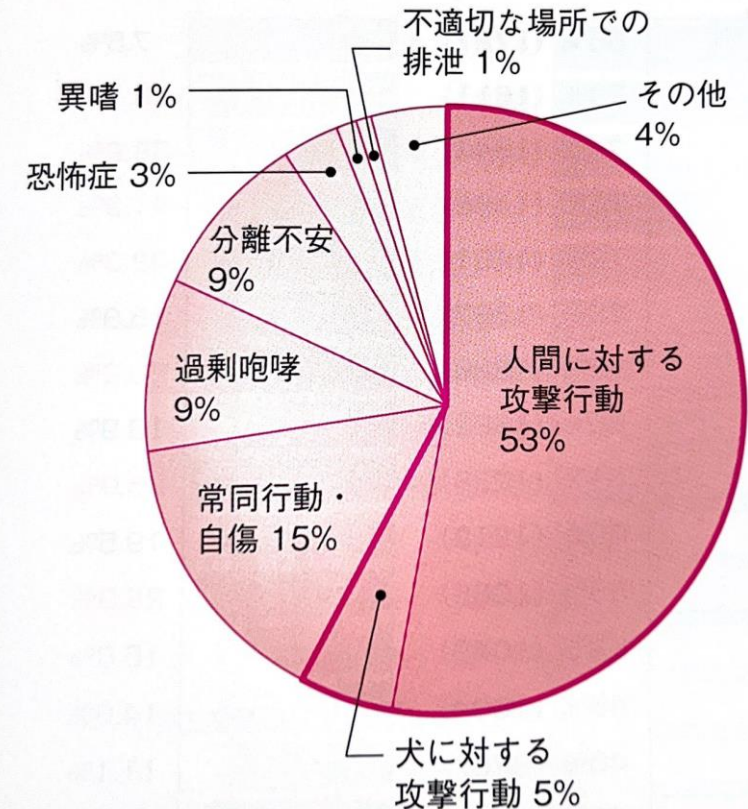
アンケート調査

- ①室内での音に対する吠え
- ②見知らぬ人に対する吠え
- ③異嗜
- ④リードを引っ張る
- ⑤見知らぬ犬に対する攻撃

●Yamada R., et al. J Vet Med Sci. 2019

東京大学動物医療センター

犬の問題行動症例内訳
2000～2020年（640症例）



一般診療にとりいれたい犬と猫の行動学
ファームプレス

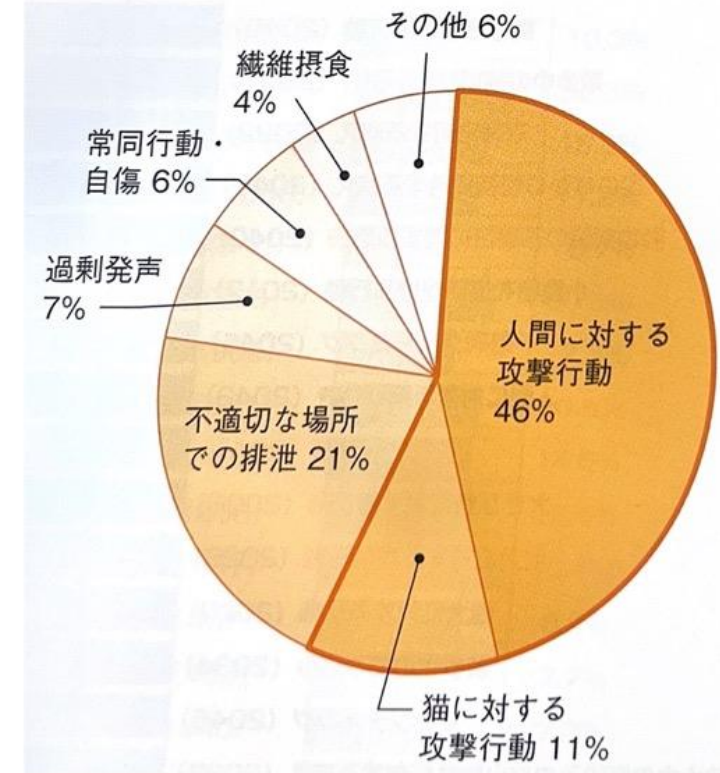
猫のよくある問題行動

アンケート調査

- ① 異嗜
- ② 診察台での恐怖
- ③ 放浪行動（脱走）
- ④ 不適切な場所でのひっかき行動
- ⑤ 不適切な場所での排泄・マーキング

東京大学動物医療センター

猫の問題行動症例内訳
2000～2020年（107症例）



●Yamada R., et al. J Vet Med Sci. 2020

一般診療にとりいれたい犬と猫の行動学
ファームプレス

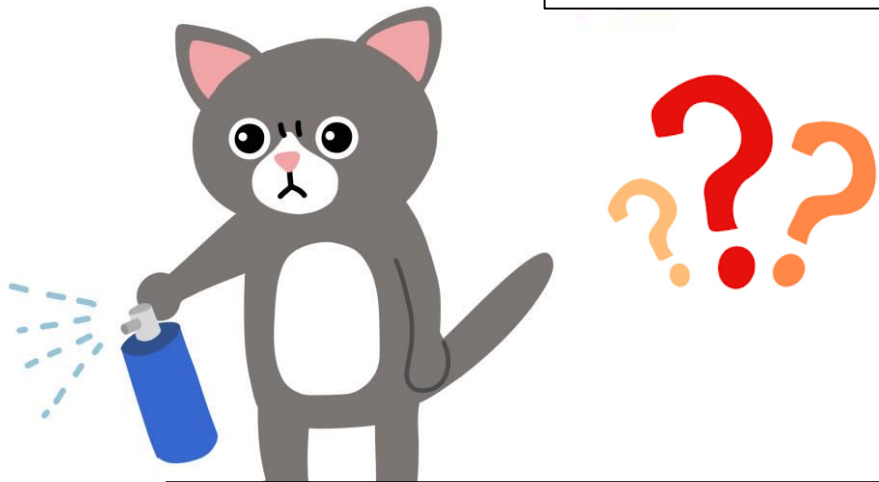
問題行動の原因は・・・？



凶暴な性格



あまやかし、しつけが悪い



いじわる、性格が悪い

問題行動を予防する・治す



問題行動の原因を無くす、治す、減らす



問題行動の原因を知る

行動が起こる仕組み

反応 = 行動

- 種の保存
- 社会的目的
- 好奇心・探索

行動を引き起こす原因

動機付け

情動・心の動き

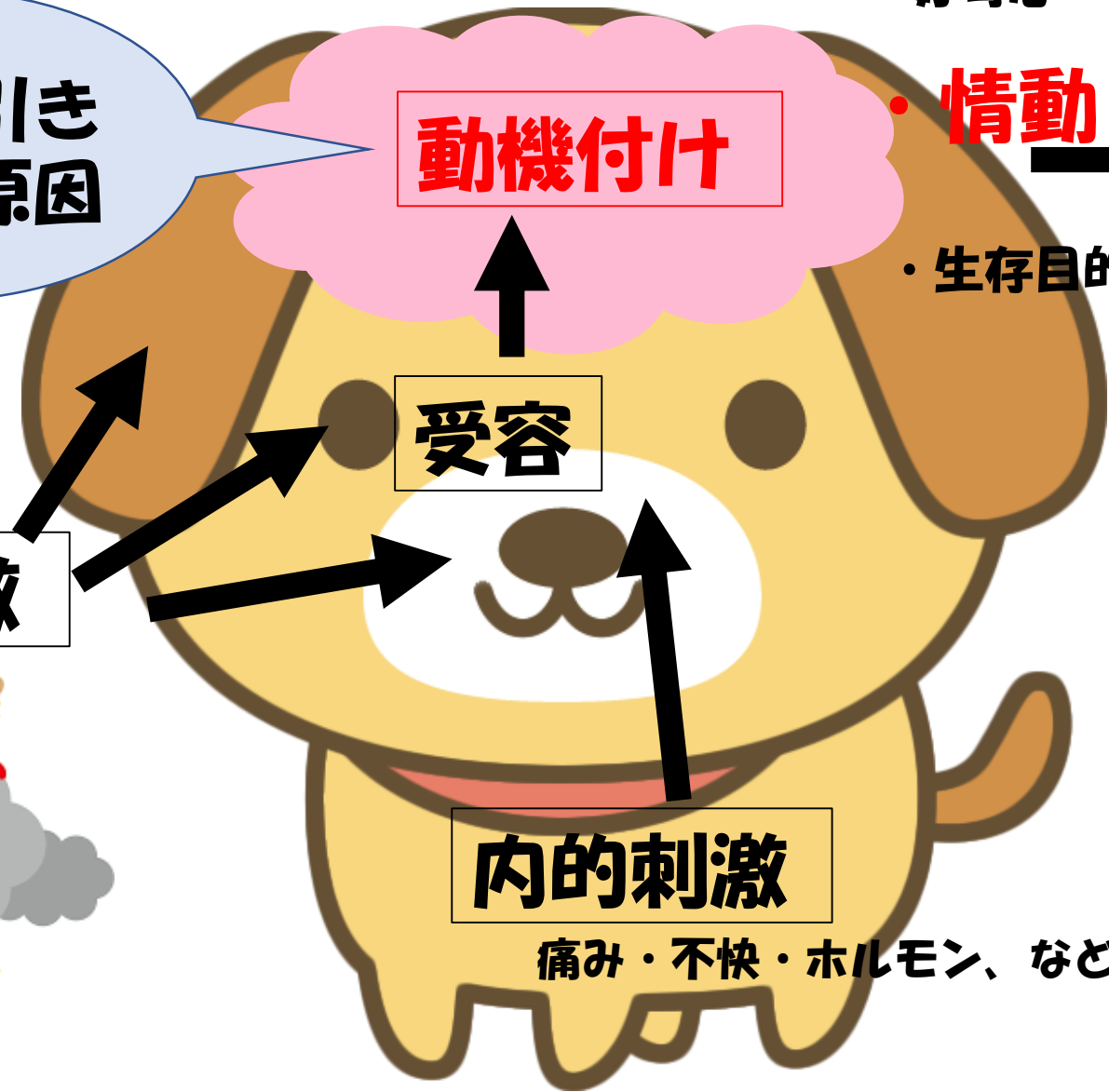
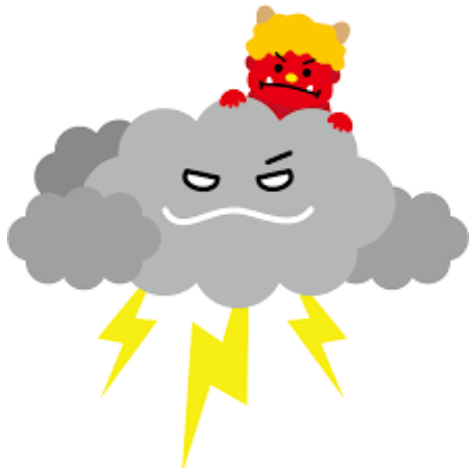
- 生存目的・生理的欲求

受容

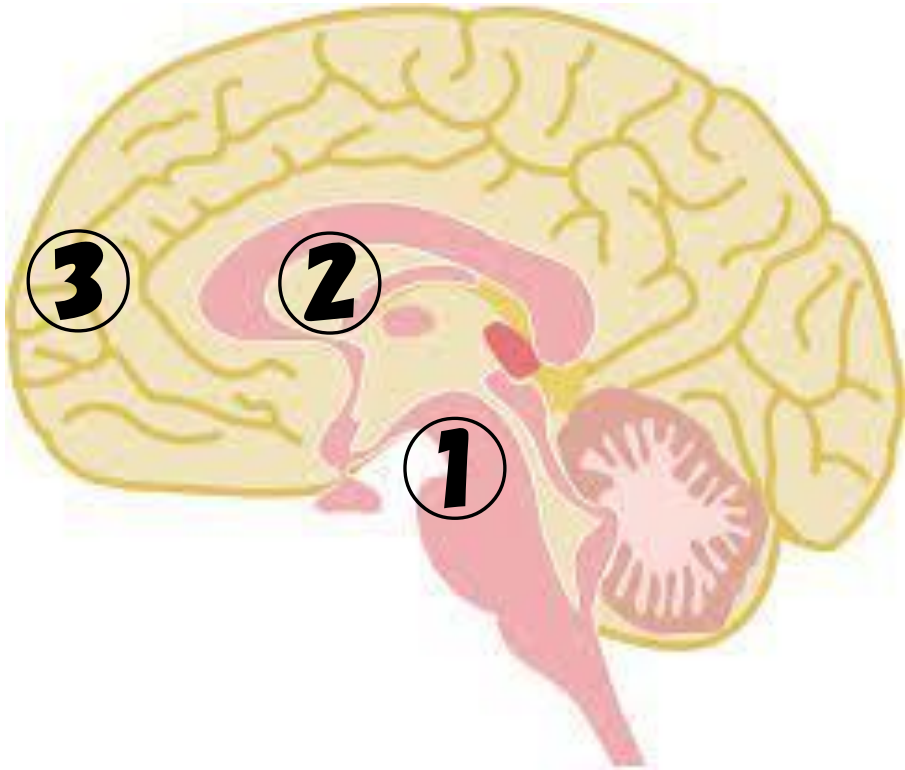
外的刺激

内的刺激

痛み・不快・ホルモン、など



犬・猫のこころと脳



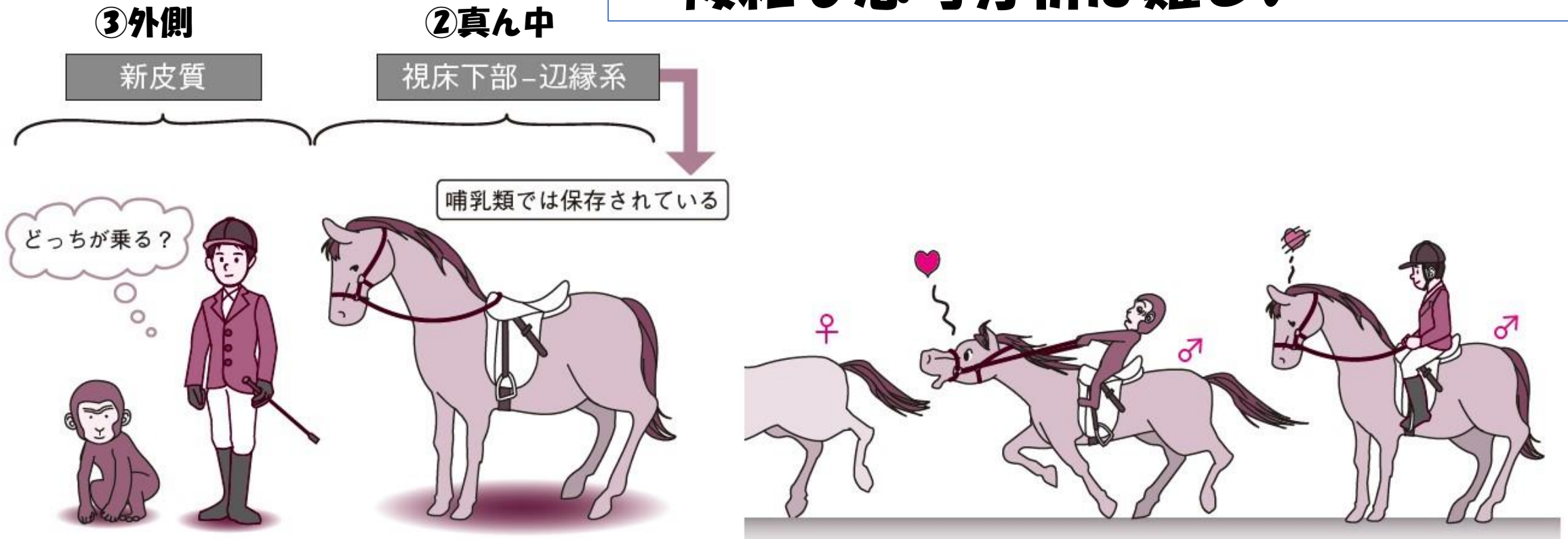
①奥（脳幹）：生命活動

②真ん中（大脳辺縁系-視床）：情動

③外側（大脳新皮質）：知的活動

人と動物の違い：脳と行動

- 行動が心の動きの影響を受けやすい
- 複雑な思考分析は難しい



犬が吠える原因

- ・ 遊びたい
 - ・ 飼い主にみて欲しい
 - ・ 要求
 - ・ 痛い
 - ・ 縄張りをまもりたい
 - ・ 怖い・不安
- など



マイナスの心の動き

犬が人に対して攻撃する原因

- ・ 恐怖
 - ・ 所有しているもの・食べ物への防御
 - ・ 葛藤・自己主張
 - ・ 縄張り防御
 - ・ 痛み
 - ・ 獲物を捕まえる本能
- など



マイナスの心の動き